

市議会議員

おのざわ康弘の

会派活動報告

ひげ通信



2015

No. 44

発行日 15-04(やまぶき会 小野澤康弘)

おのざわ康弘ホームページ
Tel.049(232)5789 Tel.049(231)4850 http://onozawayasuhiro.com/

定例市議会報告 (3月議会)

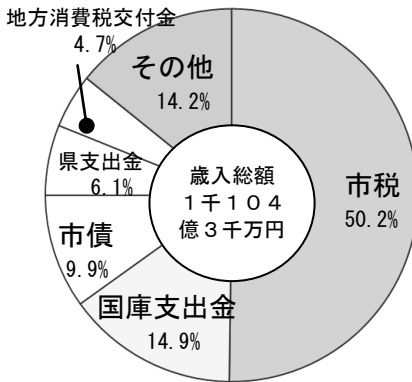
新年度予算決まる

3月定例市議会は平成27年2月17日(火)に開会され、すべての議案を原案可決し、3月17日(火)に閉会となりました。今議会は平成27年度の川越市の予算を決定するもつとも大事な議会であります。

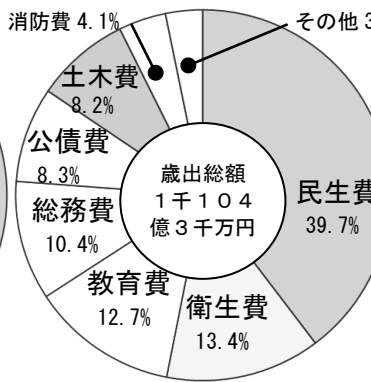
さて、現下の社会経済状況についてはアベノミクスによる様々な取組みや「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に沿って国の補正予算が編成されるなど、景気回復への期待感が高まっており、2月16日(月)発表された2014年10月～12月期の実質GDP成長率は3四半期ぶりに増加に転じたとの明るい兆しも見せております。しかし一方では国の月例経済報告によると消費者マインドの弱さや海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要があります。とされるなど、予断を許さない情勢であるとも考えられます。そのような中、本市の一般会計予算ですが、国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」による補正予算を活用した平成26年度3月補正予算と合わせて、厳しい財政状況の中であつても積立基金等の活用により2年連続で1100億円を超える積極的な予算としたことは、私は評価したいと思います。

一般会計の構成割合

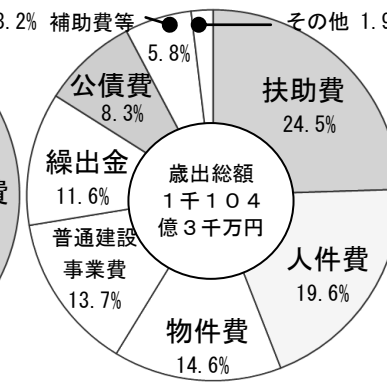
歳入予算の構成割合



歳出予算の目的別構成割合



歳出予算の性質別構成割合



合計	一般会計	特別会計
1,965億4,090万円	1,104億3,000万円	861億9,900万円

選挙名	執行	支出先	金額
埼玉県議会議員選挙	4/12	埼玉県	48,856,000円
川越市議会議員選挙	4/26	川越市	105,054,000円
埼玉県知事選挙	未定	埼玉県	69,081,000円

平成27年4月1日以降に支出される予算です。
今後市民の皆様への協力のもとに議会運営に全力で取組めた事が強く印象に残る4年間でした。地方議会もまだ改めなければならぬ課題が多くあると思います。
今後も市民の皆様への協力のもとに議会運営に全力で取組めた事が強く印象に残る4年間でした。地方議会もまだ改めなければならぬ課題が多くあると思います。

平成27年度選挙費の計上

平成27年度は統一地方選挙執行の年であり川越市も市議会議員選挙の執行と埼玉県議会議員選挙の執行が4月にあります。また、その後は埼玉県知事選挙も控えております。私も平成27年3月19日(木)に川越市議会議員選挙立候補の事前審査を終了いたしました。私は4年前の統一地方選挙により当選し、3期目の議員としてこの4年間議会活動及び議員活動を行ってまいりました。議会の中では他の議員と共に議会の改革事項に取り組んでまいりました。また、今期は特に議会選挙により第78代の市議会議長職に就任させていただき、各議員さんのご協力のもとに議会の運営に全力で取組めた事が強く印象に残る4年間でした。地方議会もまだ改めなければならぬ課題が多くあると思います。

主な議決案件

3月定例議会の主な議案

(2月17日～3月17日)

条例の制定について

4件 (原案可決)

条例の全部改正について

1件 (原案可決)

条例の一部改正について

18件 (一部反対異議有り) (原案可決)

指定管理者の指定について

1件 (原案可決)

包括外部監査契約について

1件 (原案可決)

道路認定について

1件 (原案可決)

平成26年度補正予算について

4件 (原案可決)

平成26年度当初予算について

10件 (一部反対異議有り) (原案可決)

議員提出議案

2件 (原案可決)

同意第一号、第二号

(固定資産評価監査委員)

同意第三号(人権擁護委員候補者の推薦)

1件 (決定)

詳しくは議会だよりを参考に
※会派やまぶき会は全ての議案に賛成いたしました。

〈主な重要議案から〉

議案第23号

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法

律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

今回の条例改正の趣旨は教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るとともに地方に対する国の関与の見直しを図るため地方教育行政制度の改革を行うものであります。

概要 (一部抜粋)

1. 教育行政の責任の明確化
○教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者(新教育長)を置く(13条関係)

○教育長は、首長が議会同意を得て、直接任命・罷免を行う(4条、7条関係)
○教育長の任期は3年とする(委員は4年)(5条関係)
2. 総合教育会議の設置、大綱の策定

○首長は、総合教育会議を設ける。会議は首長が招集し、首長、教育委員会により構成される(1条の4関係)

○首長は、総合教育会議において、教育委員会と協議し、教育基本法第17条に規定する基本的な方針を参酌して、教育の振興に関する施策の大綱を策定する(1条の3関係)

3. 国の地方公共団体への関与の見直し

4. その他

○総合教育会議及び教育委員会の会議の議事録を作成し、公開するよう、努めなければならない。(1条の4⑦、14条⑨関係)

○現在の教育長は、委員として任期満了まで従前の例により在職する(附則2条関係)

平成27年度

川越市の主な事業 (一部抜粋)

第4次川越市総合計画の策定
・東京オリンピック・パラリンピックの推進

○交通安全

・安全安心通学路対策

○児童福祉

・保育所等建設補助
・障害児通所給付費(施設利用費用の補助)

・地域子育て支援拠点事業

・地域型保育給付費(小規模保育等)

○保健衛生

・新斎場建設(3箇年の継続事業、平成29年度供用開始)
・西清掃センター跡地等施設整備

○観光

・旧山崎家別邸
・元町休憩所(無料休憩所)

・蓮馨寺境内トイレ改築工事
○道路整備

・冠水表示板設置(局地的集中豪雨対策)
・生活道路(市道)改良
・橋りょう維持補修

○都市計画

・立地適正化計画策定検討業務委託
・喜多院周辺地区都市景観形成地域指定・整備検討
・旧川越織物市場活用推進

・本川越駅西口駅前広場及びアクセス道路整備等
・中央通り地区整備
・笠幡駅前周辺整備

・川越駅西口市有地利活用事業
・新河岸駅周辺地区整備
・県道川越越生線交通安全施設整備

・本川越駅前通線
・歴史的地区環境整備街路事業
・なぐわし公園二期工事

○教育
・スクールソーシャルワーカー
・小学校施設整備、空調設備設置
・基礎調査業務委託

・小学校施設整備、非構造部材耐震化
・新学校給食センターPFI事業

私の議会質問

今回の一般質問は「JR川越線のダイヤ改正に伴う諸問題について」を取り上げ行いました。

私はこの4年間入間川以西のまちづくりについて重点的に一般質問を行ってまいりました。

主には霞ヶ関駅周辺のまちづくり及び、文化財を通してのまちづくりなど何度か提案や市の取組みに対する将来的な考え方の確認を行ってまいりました。

今回のJR川越線のダイヤ改正は、これまでもJR川越線は20分に1本しかなくて不便だ、という市民の皆様からの声があるところにも多く寄せられていたのですが、今度は30分に1本になってしまおうというものです。私は、平成22年3月の第1回定例会におきまして、JR川越線のダイヤ改正に伴う問題点について一般質問で取り上げさせていただいたのですが、まったく同様の問題が再び起きた、というのが素直な感想であると共に愕然としました。

5年前のダイヤ改正では、川越駅以西から大宮方面に向かう場合、川越での乗り換え時間で

すが、ダイヤ改正前は平均3.9分、ダイヤ改正後は平均で6.9分と約3分の増加となり、全体の所要時間にも影響を出し、高麗川〜大宮間が平均で8分以上、以前より時間がかかるようになりまし。また、深夜のJR川越線下り方面の乗り換え時間についても不便さに対して不満を述べる市民の声も多く聞かれます。

今回のデータタイムの減便の理由は、その時間帯の利用者が少ないから、ということのようですが、企業としてのJR東日本の立場から言えば、効率性を追求するものですから、ある意味、当然の経営判断であろうと、理解できる部分も無いわけではありません。

しかし、今や首都近郊の観光地として年間657万人あまりが訪れている上に、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック競技大会のゴルフ競技の開催が予定されている川越市に対してのJR東日本の認識が、あまりにもお粗末なのではないかと言わざるを得ません。

JR東日本に対しては、今回のダイヤ改正はまったく一方的であり、鉄道の持つ公共性や沿線自治体がまちづくりに費やしたこれまでの努力があつて、はじめて利用客が生まれ、鉄道経営が成り立っているのだ、ということ再認識させなくてはならないと思います。

一方で、川越市としてこれまでどのようなまちづくりを進めてきたのか、あるいは、進めようとしてきたのか、という問題もあると思います。

JR東日本がなぜ、今回のようなダイヤ改正を実施しようとしたのか、5年前にも利便性の低下を招くようなダイヤ改正を実施したのですが、どうして地域住民が不便をこうむるようなダイヤ改正を繰り返させてしまったのか、については、私は本市のまちづくりに対する姿勢の問題も大きいのではないかとやむを得ません。

私は、行政が明確なビジョンを持つてまちづくりを進めることが大変重要であると常々考えています。

5年前の3月議会での一般質問の際にも指摘させていただいたところですが、鉄道は地域の活性化を図っていく上で根幹をなすものであり、鉄道を政策的にきちんと位置付けて、都市計画や人口の誘導策や商業政策など、関連する政策を展開できるようにしておく必要があるのだと思います。

まちづくりには長い時間がかかるのですから、5年先、10年先に備えて、まちづくりのビジョンをきちんと考えてほしいと指摘させていただきまし。また、JR川越線の沿線の、特に入間川以西の地域の市民の皆様が再び利益をこうむらないようにしてほしい、

とお願いをした経緯がありました。この5年間に市はどのような取り組みを進めてきたのか。

今定例会の議案質疑の中で他の議員さんの質疑がありました。来年度以降「立地適正化計画」とそれに関連する「都市・地域総合交通戦略」の策定に着手することでした。特に「立地適正化計画」は、都市計画マスタープランの高度化版であるとのこと答弁がありました。時期がだいぶ遅くなったような気がしますが、この「立地適正化」が5年前にご答弁いただいたビジョンにあたるのかどうか、などにつきまして、今回改めて一般質問を通じて明らかにしていきたいと思いいこの質問を取り上げました。

質問骨子

- Q1. 本市の鉄道の利用状況の1日当たりの推移はどのようになっているか
- Q2. 今回のダイヤ改正の概要とはどのようなものか。
- Q3. JR東日本はなぜダイヤ改正をしようとするのか。
- Q4. 今回のダイヤ改正に対する川越市の認識と対応はどのようなのか。
- Q5. 川越市はJR川越線をどのように位置づけているのか。
- Q6. 鉄道が地域の活性化に果たす役割をどう考えているのか。
- Q7. 平成22年3月議会ではこの問題を取り上げましたが、この5年間どのようなまちづくりビジョンを持って取り組んできたのか。

川越市政の

「ひげ」注目!

川越市議会の取組みについて

この4年間、私達川越市議会では議会運営改革等を含め、取組みを実施いたしました。

○議会中継の実施 (インターネットによる議会中継) 平成24年3月実施

○議案研究日の見直しについて 平成24年6月実施

○政策検討会議の設置について 平成24年10月要綱設置

○川越市議会災害対策支援本部について 平成24年12月要領設置

○公聴会開催、参考人招致について 平成25年2月会議規則議決

○教育行政方針の本会議場での実施について 平成24年3月実施

○代表質疑について 平成25年3月実施

○常任委員会視察への理事者同行について 平成25年6月議運決定

○川越駅西口まちづくり懇話会の設置 平成25年6月要綱設置

○委員長報告の見直し 平成26年3月実施

○常任委員会正副委員長会議の設置 平成26年6月会議規則の改正

○タブレット端末機の導入について 平成26年8月導入

○政務活動費の見直しについて 平成27年3月議決、4月1日施行

注目の地域施策 (抜粋)

○笠幡駅前周辺整備

東京オリンピックのゴルフ競技場予定地の最寄駅となるため、笠幡駅の駅前空間整備に向けた調査等を行う。

○歴史的地区環境整備街路事業

歴史的地区の環境保全と、歩行者ネットワーク形成のため整備。

県道川越日高線から喜多院まで延長150m

○なぐわし公園二期工事

PiKOA北側の芝生広場整備

○小学校エアコン設置基礎調査業務委託

学校の教室に空調設備を設置する検討資料として、現地調査の上、設置に係る手法、場所、概算費用等に関する基礎調査業務委託を実施する。

○仮称霞ヶ関西公民館建設推進

市民にとって身近な場で、多様な市民活動が行えるようにするため、未設置地区である霞ヶ関西中学校区に公民館の設置を推進。平成27年度は基本設計

消防救急デジタル無線運用開始!

川越地区消防組合

(3月26日)

消防救急デジタル無線及び高機能消防指令センターの整備。災害現場の特定や消防活動の支援情報の伝達が迅速、確実に!

やすひろ

おのざわ康弘

何事にも一生懸命



私は川越市議会議員3期12年間で議会改革の一貫として「議員定数の削減」を訴え続け、2010年12月の本議会で市議会議員の定数を1割削減の36人に削減を可決。

次に、私に目指す市民参加のまちづくりに対し、主張してきた「まちづくり条例」が2013年の議会で可決制定と、二つの私の公約を果たすことができました。

川越の自然と文化を守ります

- 生物多様性の保全により川越らしい自然に満ちた環境を守ります。
○長い歴史を持つ川越の文化を守ります。
○河越流鏑馬を応援します。

福祉と笑顔で健康に暮らせる仕組みをつくりま

- 地域コミュニティ活性化を応援します。
○空き家対策の仕組みづくりをします。
○医療機関と連携した急患医療体制を整備します。
○増加する単身高齢者が安心して暮らせるしくみづくり。

子どもたちを育む理想の環境をつくりま

- 地域で支える学校教育を応援します。
○川越に伝わる行事や伝統文化を子どもたちに伝えます。
○元気な子どもたちや大人たちのためにスポーツ施設を整備します。
○川越から世界に羽ばたく人材を育成します。
○小江戸川越ハーフマラソンを応援し、東京オリンピックの準備に力をそそぎます。

市役所のさらなる改革と議会の改革を進めます

- 民間の資金と知恵により川越の文化的資源を活用します。
○川越に協働とボランティアの地域社会をつくりま。
○民間のバランスシートを導入し、無駄の無い効率的な財政にします。
○議会改革の取組として、議会基本条例の制定を目指します。

プロフィール

昭和29年3月13日生
現職

- 川越市議会議員 3期
会派「やまぶき会」 幹事長
文化教育常任委員会 委員長
議会運営委員会 委員
川越地区消防組合議会 議員
なぐわし公園建設委員会 委員
環境審議会 委員
第78代川越市議会議長 歴任

最終学歴

東洋大学大学院工学研究科建築学専攻
博士前期課程修了 (修士)

役職

- 東洋大学校友会 埼玉県西部支部 監事
県立川越工業高等学校同窓会 理事
川越市立川越第一中学校同窓会 理事
児童養護施設埼玉育児院後援会 理事
上戸小学校区スポーツ振興連絡協議会顧問
喜多院で第九を歌う会 事務局長
川越市マレットゴルフ連盟 顧問
川越ボラリスミバスカットボールクラブコーチ
川越地区ミニバスケットボール連盟
相談役